

介護職員初任者研修課程カリキュラム表

科目番号・科目名（時間）	項目番号・項目名	実施計画
1. 職務の理解（6時間）	(1)多様なサービスの理解 (2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	序章 介護の職務の理解 §1 「介護」とは？ §2 介護サービスの仕事とは？ §3 介護の資格とキャリアシステム
2. 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）	(1)人権と尊厳を支える介護 (2)自立に向けた介護	第1章 介護における尊厳の保持・自立支援 第1節 人権と尊厳を支える介護 §1 人権と尊厳の保持 §2 QOLの考え方 §3 ノーマライゼーション §4 虐待防止・身体拘束禁止 §5 個人の権利を守る制度の概要 第2節 自立に向けた介護 §1 自立支援 §2 介護予防
3. 介護の基本（6時間）	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携 (2)介護職の職業倫理 (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント (4)介護職の安全	第2章 介護の基本 第1節 介護職の役割、専門性と多職種との連携 §1 介護環境の特徴の理解 §2 介護の専門性 §3 介護に関わる職種 第2節 介護従事者の倫理 §1 職業倫理 第3節 介護職における安全の確保とリスクマネジメント §1 介護労働における安全の確保 §2 事故予防 §3 安全対策 §4 感染対策 第4節 介護職員の安全衛生 §1 介護職員のこころの健康管理 §2 介護職員のからだの健康管理
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）	(1)介護保険制度 (2)医療との連携とリハビリテーション	第3章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 第1節 介護保険制度 §1 介護保険制度創設の背景と目的 §2 介護保険制度の動向 §3 介護保険制度のしくみ①保険システム、要介護認定、ケアマネジメント §4 介護保険制度のしくみ②介護報酬、財源、組織、その他 §5 介護サービスの分類と種類 §6 主な介護サービスの内容とサービス事業者・施設 §7 保険給付以外の事業 第2節 介護と医療の連携 §1 介護における医療と福祉の連携

<p>8. 障害の理解 (3時間)</p>	<p>(1)障害の基礎的理解 <small>2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識</small></p> <p>(3)家族の心理、かかわり支援の理解</p>	<p>§1 家族への支援</p> <p>第4章 障害の理解 第1節 障害の基礎的理解 §1 障害の概念 §2 ICFの考え方 §3 障害者福祉の基本理念</p> <p>第2節 障害の医学的側面の基礎的知識 §1 視覚障害 §2 聴覚・平衡機能障害 §3 音声・言語・咀嚼機能障害 §4 肢体不自由 §5 内部障害 §6 障害の受容 §7 知的障害 §8 精神障害 §9 高次脳機能障害 §10 発達障害</p> <p>第3節 家族の心理の理解 §1 家族の心理 §2 家族への支援</p>
<p>9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (7.5時間)</p>	<p>(1)介護の基本的な考え方 <small>(2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解</small></p> <p>(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解</p> <p>(4)生活と家事</p> <p>(5)快適な居住環境整備と介護 <small>(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</small></p>	<p>第1章 こころとからだの基礎的理解 第1節 介護の基本的な考え方 §1 理論と法的根拠に基づく介護</p> <p>第2節 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 §1 学習と記憶の基礎知識 §2 感情と意欲の基礎知識 §3 自己概念と生きがい §4 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因</p> <p>第3節 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 §1 人体の各部の名称と働きに関する基礎知識 §2 骨・関節・筋に関する基礎知識 §3 中枢神経系と末梢神経系に関する基礎知識 §4 自律神経と内部器官に関する基礎知識 §5 こころとからだを一体的に捉える</p> <p>第2章 生活支援と住環境整備 1節 生活と家事 §1 生活と家事の理解 §2 家事援助に関する基礎的知識と生活支援</p> <p>第2節 快適な居住環境整備と介護 §1 快適な居住環境に関する基礎知識 §2 高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法</p> <p>第3章 こころとからだのしくみと自立に向けた介護 第1節 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>

	<p>(7)移動・移乗に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(8)食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(9)入浴、清潔保持に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(10)排泄に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(11)睡眠に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>(12)死にゆく人に関連したところからのしくみと終末期介護</p> <p>(13)介護過程の基礎的理解</p> <p>(14)総合生活支援技術演習</p>	<p>§1 整容に関する基礎知識</p> <p>§2 整容の支援技術</p> <p>第2節 移動に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>§1 移動・移乗に関する基礎知識</p> <p>§2 さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法</p> <p>§3 介護職員にとっての負担の少ない移動・移乗の支援方法</p> <p>§4 移動と社会参加の留意点と支援</p> <p>第3節 食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>§1 食事にに関する基礎知識</p> <p>§2 食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからのしくみ</p> <p>§3 楽しい食事を阻害するところからのだの要因の理解と支援方法</p> <p>§4 食事と社会参加の留意点と支援</p> <p>第4節 入浴、清潔保持に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>§1 入浴、清潔保持に関する基礎知識</p> <p>§2 さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法</p> <p>§3 さまざまな入浴・清潔を保つための方法</p> <p>§4 楽しい入浴を阻害するところからのだの要因の理解と支援方法</p> <p>第5節 排泄に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>§1 排泄に関する基礎知識</p> <p>§2 さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法</p> <p>§3 爽快な排泄を阻害するところからのだの要因の理解と支援方法</p> <p>第6節 睡眠に関連したところからのしくみと自立に向けた介護</p> <p>§1 睡眠に関する基礎知識</p> <p>§2 さまざまな睡眠環境と用具の活用方法</p> <p>§3 快い睡眠を阻害するところからのだの要因の理解と支援方法</p> <p>第4章 ターミナルケア</p> <p>第1節 死にゆく人のところからのしくみと終末期介護</p> <p>§1 終末期に関する基礎知識とところからのしくみ</p> <p>§2 「死」に向き合うところの理解</p> <p>§3 苦痛の少ない死への支援</p> <p>第5章 生活支援技術演習</p> <p>第1節 専門性を活かした介護過程の展開</p> <p>§1 介護過程の展開</p> <p>第2節 総合生活支援技術演習（事例による展開）</p> <p>§1【事例1】Yさん、80歳、女性、要介護4</p> <p>§2【事例2】Oさん、88歳、女性、要介護2</p> <p>§3【事例3】Aさん、81歳、女性、要介護1</p> <p>§4【事例4】Kさん、88歳、女性、要介護5</p>
10. 振り返り（4時間）	<p>(1)振り返り</p> <p>(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修</p>	10 振り返り
合計 130時間		
修了評価（1時間程度）		※全科目修了後に1時間程度の筆記試験により実施

